

久喜市卓球連盟表敬訪問



バタフライ第48回全国レディース卓球大会のダブルスC(合計年齢126歳以上)で優勝された、久喜市卓球連盟の小澤春枝さん、松村孝江さんが市長を表敬訪問しました。小澤さん、松村さんは、8月3日、久喜市卓球連盟久喜支部主催の「第34回久喜オープン卓球大会」においてもシニア部門で優勝を獲得しています。

久喜工業高等学校 ダンス同好会が市長を訪問



▲表敬訪問時に華麗なパフォーマンスを披露する杉浦さん

8月11日～13日に開催された全国高等学校ダンスドリル選手権大会において、久喜工業高等学校ダンス同好会に所属する杉浦崇遠さんがMR.DANCE DRILL TEAM男子(個人部門)に出場されました。本部門の出場者は全国で6人、うち関東からは杉浦さんのみ選出されました。

東京2025デフリンピックの PRキャラバンカーが久喜市にやってきました



9月24日、東京2025

デフリンピック大会の魅力を伝えるため、全国を巡回しているキャラバンカーが久喜市にやってきました。久喜市役所玄関前で行われたセレモニーでは、市内の聴覚障がい者や手話サークルの方が見守る中、久喜市出身の女子バスケットボール日本代表の川島真琴選手による決意表明のほか、参加者による川島選手への応援エールが行われ、大変盛り上がりました。

▲当日の様子
(ショート動画)

広報紙 × Instagram 連動企画 #kukimemo あなたの写真を広報くきて紹介します!



※今月の#kukimemoはお休みです。

広告

ガス給湯器
石油給湯器
エコキュート

便器・ウォシュレット
水まわりの修理・取替工事

ホームページ <https://www.234126.jp>
クレジットカード・QR決済使えます

水栓・シャワー
配管修理取替
システムバス
キッチン

水道、下水道、久喜市指定工事店
ニーサン ヨイフロ

株式会社 力キヌマ 0480(23)4126

久喜市北青柳1236-1
建設業許可(般-5)第62310号
定休日 日曜、祝日、第2・4土曜

不定期連載企画 久喜の人じまん 第4回

久喜市にゆかりがあり、全国的に活躍されている方を紹介する「久喜の人じまん」。今回は、11月に開催される聴覚障がい者のための国際スポーツ大会「東京2025 デフリンピック」に、女子バスケットボール日本代表として出場する川島真琴さんです(久喜市出身・在住)。デフアスリートにとって最高峰となる大会での活躍が期待されます。

interview

「多くの人にデフスポーツを知ってもらいたい」
かわしまこと
川島 真琴

Makoto Kawashima



▲手話は「デフリンピック」の意

「デフバスケでは、音が聞こえない中でどのようにコミュニケーションを取りますか。」

川島さん 試合中は目から情報しないので、コート上の選手同士はもちろん、監督の指示も目で見て確認します。常に周りをよく見るように意識しているんです。セッタープレーもサインが決まっていて、グーを出したらこの動き…とき、チョキを出したらこの動き…という感じです。バスケの技術はもちろん、コミュニケーションが非常に重要なってなるとこでですね。デフバスケの魅力はどんなところですか。

川島さん 音声でのコミュニケーションがない中で、アイコンタクトやサインを使って瞬時に意思疎通をするところですね。デフバスケを初めて見た時は本当に静かで、「これでバスケットできるの!」って驚いたんですけど、そこで自分自身の視野の狭さに気付かされました。デフバスケを始めたことで、もつと周囲を広く見ること、仲間を見るなどの大きさを感じたんです。

「デフリンピック代表に決まった時のお気持ちは。」

川島さん ドキドキとワクワクでした。世界選手権には出場したことがありますが、デフリンピックは特別です。日本は前回バスケで出場できなかったのですが、今回出場は本当にうれしいです。多くの人にデフスポーツを知つてもらうきっかけになると思っています。ちなみに、川島さんは久喜市公式YouTubeの手話コーナーにも出演されています。(5ページ参照)

「今日のセレモニーにもたくさんの方が応援に来てくれましたね。ちなみに、川島さんは久喜市公式YouTubeの手話コーナーにも出演されています。(5ページ参照)

川島さん 実は大学生までは手話ができなかつたんです。デフの仲間と話すために大学時代に手話を覚えました。手話を通じて本当に世界が広がったので、皆さんにも手話の楽しさを実感してもらえたうれしいです。

「久喜市での思い出は。」

川島さん 小中学生の頃は栗橋やささときめき祭りに毎年友達と一緒に参加しました。すごく楽しかったですね。あと夏が大好きなので、地元のくりはし夏祭りや久喜の提燈祭りにも行ってましたよ。

栗橋小学校・栗橋東中学校・久喜高校卒業。東京2025デフリンピック女子バスケットボール日本代表。昨年のアジア太平洋デフバスケットボール選手権大会にも日本代表として出場し、金メダルを獲得。普段は補聴器を着用し、通常のバスケの練習にも参加している。ラーメンが大好きで、久喜で一番好きなお店は「麺場もっけい」。

試合スケジュール(グループリーグ)	11月20日(木)15時30分～	11月18日(火)15時30分～	ウクライナ戦
大田区総合体育館(東京都)	YOUTUBEチャンネルで各競技ライブ配信を予定。 詳細はデフリンピックホームページをご覧ください▼	※観戦無料、申し込み不要。	川島さん デフリンピックを通じて、手話や指文字にも興味を持つてもらいたいです。今のチームはとても強いので、金メダルを目指して頑張ります! 応援よろしくお願いします。



姉の影響でバスケットボールを始めた川島さん。小学4年生のときに、デフバスケの世界を知り、中学3年生から本格的に練習を開始、着実に実力を積み重ねてきました。目標としていた大会を目前に控えた川島さんに、デフバスケへの想いや大会への意気込みをお聞きました。



▲片手で「まこと」を意味するチーム内のサイン。漫画「まことちゃん」のグワシが元になっているという。

「最後に市民の方にメッセージを。」

川島さん デフリンピックを通じて、手話を覚えたたらと思います。そして手話や指文字にも興味を持つてもらいたいです。今のチームはとても強いので、金メダルを目指して頑張ります! 応援よろしくお願いします。